



**筆文字で関西の“活力”と“遊び心”をイメージ！**  
**関西エアポートグループ、運営 3 空港の周年ロゴを発表**  
関西国際空港 25 周年 / 大阪国際空港 80 周年 / 神戸空港 13 周年

関西エアポートグループは、運営する関西国際空港 25 周年、大阪国際空港 80 周年、神戸空港 13 周年を記念した周年ロゴを作成し、本日 4 月 1 日（月）より運用することをお知らせします。



今回発表したロゴのテーマは「Vitality and Playfulness（活力と遊び心）」です。2019 年、G20 大阪サミットやラグビーワールドカップなど国内外からより多くのお客様をお迎えする関西国際空港、来年のターミナル改修グランドオープンでより便利で楽しさのあふれる空港に進化する大阪国際空港、昨春 関西エアポートグループに加わり、3 空港一体運営開始から 1 年を迎えた神戸空港。関西そして日本に大きな活力を生み出し、遊び心のあるおもてなしにより国内外を旅する方々を笑顔にする空港をめざす、その想いをデザインに込めました。

躍動感あふれる筆文字は、関西を拠点に活躍する書道家の青柳美扇（あおやぎ びせん）さんによるオリジナル書体です。右肩上がりの勢いある筆使いを飛行機の上昇に見立て、未来への飛躍と関西の活力を表現し、和の書と英文字のロゴとの組み合わせで遊び心を加えました。

周年ロゴは、本日より運営 3 空港の施設内をはじめ、広告物や印刷物などに積極的に活用していきます。また、今後はステークホルダーの皆様と協働で、周年にちなんだ取り組みも実施していく予定です。

関西エアポートグループは、関西そして日本の空の玄関口としての役割をしっかりと果たし、これからも皆様に愛される空港づくりをしてまいります。

**【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】**

関西エアポート株式会社  
企画・管理部 コーポレートコミュニケーションズ  
(※4月1日より部署名が変更となりました)  
Tel : 072-455-2201





関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

関西エアポート株式会社 (関西国際空港および大阪国際空港の運営)

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号 (登記上)	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社 (神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、45空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル (リスボンのハブ空港含む)、イギリス、スウェーデン、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で250社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億8,000万人にのびます。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ (関連会社含む) に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構